

都市と地方を一体化した“地産地消型コミュニティ”の実現を目指す。

- ・ 援農者の高齢化が進み、これら高齢援農者の引退が見込まれるため、地域農業の維持対策が課題となっている。
- ・ 細かな点では、大半の農家が、援農の募集・マッチング方法が分からず、地域で定型的で持続可能なプロセスに落とし込めていないという課題も存在する。

事業実施主体構成員

株式会社CASE 事務局 二瓶、会計 菖蒲川

協力機関・連携先等

藤井の里くらぶ（受入れ農家）  
一般財団法人アジア太平洋研究所（研究機関）  
株式会社SAGOJO（観光ツアー企画・募集サイト運営）

設定した成果目標・目標に対する進捗状況

令和 6 年(2024 年)は、気候の影響を受けて概ね 3 割減の収穫量となった。加えて、詳細な地域の労働力状況の調査を行った結果、地域の援農要望（援農必要工数）の集計値は、2,055 人日であった。

常連の親戚・知り合いによる援農工数 928 人日を考慮すると充足率は 45.2%であり、本事業の支援（238 人日）を受けて、充足率は 56.7%に向上した。

令和 6 年度取組み内容

今年度の取組み内容

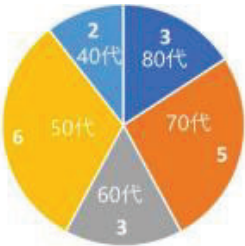
ア 労働力の需給状況の把握（地域の状況及び労働力提供可能な者の把握等）

【実績】 1 / 8 ～ 15 にアンケート実施

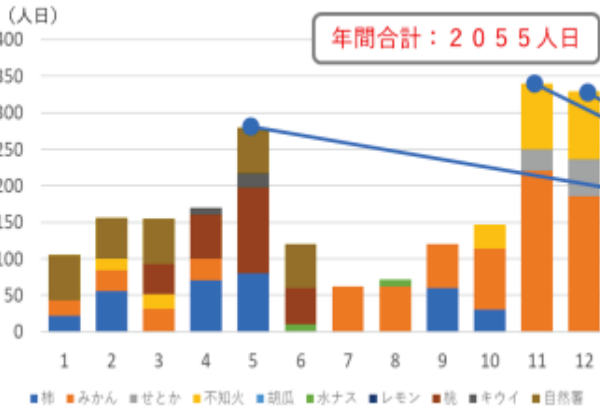
- 調査対象者「紀の川市 藤井の里クラブ」：対象人数 8 人（全 8 戸）
- 調査内容：地域の労働力の現状（アンケート結果詳細を以下に記載）

| No | 項目               | 調査結果 |
|----|------------------|------|
| 1  | 農家戸数             | 8 戸  |
| 2  | 農業従事者の人数         | 19 名 |
| 3  | 農作業を手伝う親戚・知合いの人数 | 26 名 |
| 4  | 世代別・農業従事者の人数     | 【下図】 |

世代別農御油従事者の人数



◆月別の援農必要工数



## 今年度の取り組み内容

## イ 産地内での労働力確保・育成

## 援農者受入人数（実績）

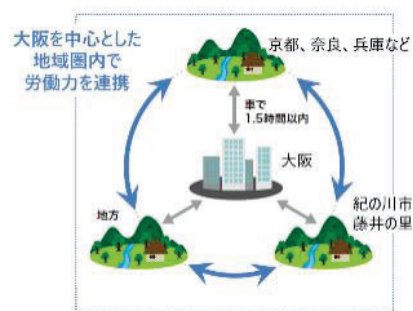
- ・様々なチャネルを用いて援農ツアー参加者を募集した結果、『50名の募集に対して、86名の応募』があった。
- ・応募は、12月最終週から本格化し、応募者面接（マッチング）の過程を経て、1月中旬からの受け入れスタートとなった。
- ・1月中旬～2月最終週の現地受け入れ可能人数により**34名の着地**となった。



## ウ 他産地・他産業との連携による労働力確保

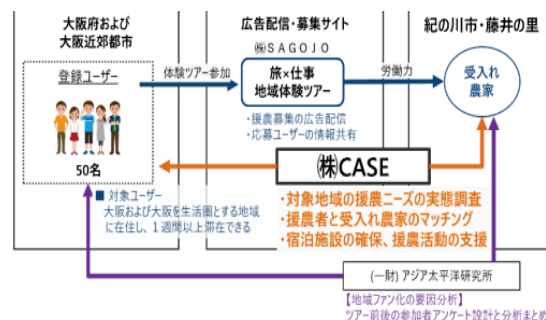
## 1 援農者を獲得する地域

大阪府および大阪近郊都市 本事業では大阪を都市部の中心とする地域圏内で労働力を確保して継続的な援農リピーターの確保を目指す。



## 2 援農者を確保する手段

旅行業との連携 SAGOJO が提供する「旅×仕事・地域体験援農ツアー」を活用して大阪府および近郊都市の住民を紀の川市藤井の里へ送客し、農業労働力を確保する。



## 3 援農者が滞在できる場所の確保

産地の宿泊滞在施設（民泊）を確保して、周年で安定した労働力の確保を実現する。

- ・定員6名程度 民泊「里庵 紀の風」
- ・藤井地区の中心に立地
- ・一部農園は、徒歩圏内



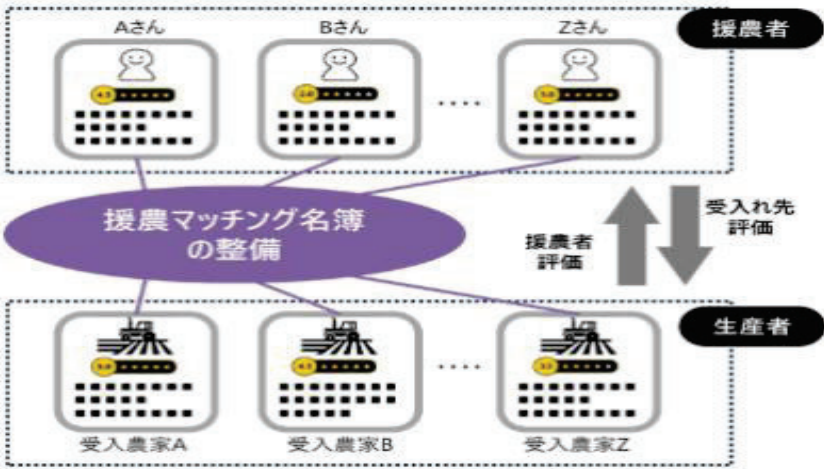
今年度の取組み内容

エ 労働力等のマッチング及びデータベース化

援農者／生産者の属性やマッチング履歴について管理し、両者ニーズに 合致した円滑なマッチングを行なえる環境整備（名簿整備）を行う。

■ 援農者の評価・受入れ農家へのヒアリングを基に、援農者の「農業スキル・農家対人スキル等」をデータベース化・応募サイトのユーザー登録情報を基に、援農者の農業以外のスキルをデータベース化

■ 生産者の評価・援農参加者への参加後アンケートから、受入れ農家の作業・特徴をデータベース化・SAGOJO 応募サイトの登録ユーザーからのコメント情報を基に、参加後の評価・感想による登録



| ID     | 農家側   |            | 援農者側       |            |        |             |  |
|--------|-------|------------|------------|------------|--------|-------------|--|
|        | 再来訪要望 | 関西在住       | 移住先検討      | 自費による再来訪意向 | つながり意識 | 地域滞在のリラックス度 |  |
|        | 1～7   | True/False | True/False | 1～7        | 1～7    | 1～7         |  |
| id1_1  | 6.3   | FALSE      | FALSE      | 5          | 6.7    | 6.6         |  |
| id4_1  | 6.0   | TRUE       | FALSE      | 4          | 6.7    | 6.4         |  |
| id4_3  | 6.3   | TRUE       | FALSE      | 4          | 6.7    | 6.6         |  |
| id5_1  | 6.0   | FALSE      | FALSE      | 5          | 6.7    | 6.6         |  |
| id5_2  | 6.6   | FALSE      | TRUE       | 1          | 5.4    | 5.6         |  |
| id5_3  | 6.5   | TRUE       | TRUE       | 3          | 6.0    | 5.8         |  |
| id5_4  | 6.0   | FALSE      | FALSE      | 2          | 6.0    | 7.0         |  |
| id6_1  | 7.0   | TRUE       | FALSE      | 7          | 6.1    | 4.6         |  |
| id6_2  | 5.8   | FALSE      | TRUE       | 4          | 6.7    | 6.0         |  |
| id6_3  | 6.8   | FALSE      | FALSE      | 4          | 6.9    | 7.0         |  |
| id6_4  | 5.7   | FALSE      | FALSE      | 2          | 6.1    | 6.8         |  |
| id6_5  | 5.3   | FALSE      | FALSE      | 4          | 6.1    | 5.2         |  |
| id7_1  | 6.0   | TRUE       | FALSE      | 3          | 5.0    | 5.0         |  |
| id7_2  | 6.7   | FALSE      | TRUE       | 2          | 6.4    | 6.4         |  |
| id7_3  | 6.0   | FALSE      | TRUE       | 2          | 7.0    | 6.6         |  |
| id7_4  | 6.7   | TRUE       | TRUE       | 3          | 6.0    | 5.6         |  |
| id7_5  | 6.3   | TRUE       | TRUE       | 1          | 3.0    | 7.0         |  |
| id8_1  | 7.0   | FALSE      | TRUE       | 2          | 6.4    | 7.0         |  |
| id8_2  | 6.2   | FALSE      | FALSE      | 4          | 6.6    | 6.6         |  |
| id8_3  | 6.3   | TRUE       | FALSE      | 1          | 7.0    | 7.0         |  |
| id8_4  | 6.5   | TRUE       | FALSE      | 3          | 5.6    | 6.4         |  |
| id8_5  | 6.3   | TRUE       | FALSE      | 2          | 5.7    | 6.2         |  |
| id8_6  | 6.2   | TRUE       | FALSE      | 4          | 6.9    | 7.0         |  |
| id9_1  | 6.7   | TRUE       | FALSE      | 5          | 6.3    | 6.2         |  |
| id9_2  | 6.3   | TRUE       | FALSE      | 6          | 6.7    | 6.2         |  |
| id9_3  | 6.0   | FALSE      | FALSE      | 3          | 7.0    | 7.0         |  |
| id9_4  | 6.7   | FALSE      | TRUE       | 4          | 7.0    | 5.6         |  |
| id10_1 | 6.0   | TRUE       | FALSE      | 7          | 6.6    | 7.0         |  |
| id10_2 | 6.0   | FALSE      | TRUE       | 4          | 6.0    | 5.6         |  |
| id10_3 | 6.7   | FALSE      | FALSE      | 4          | 7.0    | 7.0         |  |
| id10_6 | 5.3   | TRUE       | FALSE      | 5          | 6.0    | 5.8         |  |

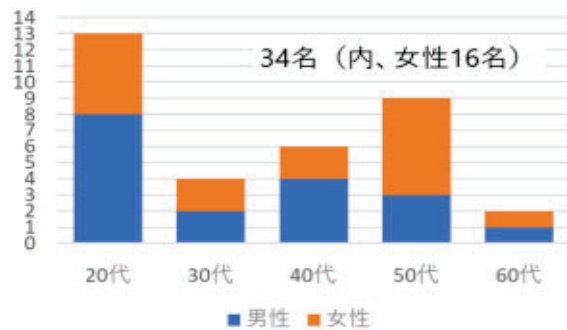
【実績】 受入れ農家側の再来訪要望の強さを軸に、援農者の属性・感想を参照可能な形式のマッチング名簿を作成。次年度から活用して効果計測や改善を図る。

## 今年度の取組み内容

## エ 労働力等のマッチング及びデータベース化

## 援農ツアー参加者の属性

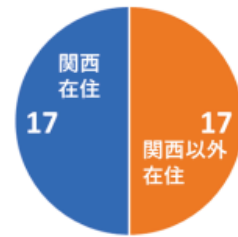
年代／性別



※全ての参加者は、同居家族に12才以下の子供はいなかった。

居住地／職業

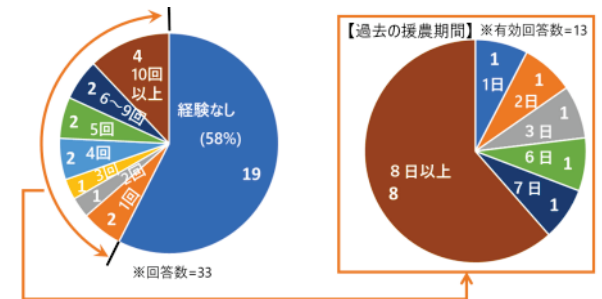
【居住地】※回答数=34



【職業】※回答数=33



過去の援農経験



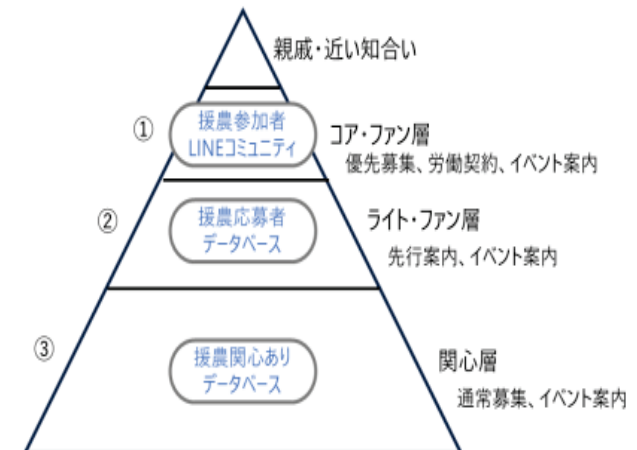
## 援農リピーター獲得に向けた地域ファン化の取組み継続

下記3つの取組みに着手しており「既に運用開始済み」や「次年度に適用開始 予定」である。

i) 援農コミュニティの構築 今回の援農ツアー参加者と受入れ農家とのLINEコミュニティ①を構築すると共に、「②今回受入れできなかった応募者」や「③応募には至らなかったが問合せ等で関心を示した人」の3つのコミュニティを運営し、コミュニティ特性に応じた関係構築を継続して行う。

ii) 藤井地区の中に宿泊施設を確保 藤井地区の近隣の宿泊施設は、藤井地区から約7km離れているが、地域内に宿泊施設を新たに確保したことで、援農者と地域住民との間で日々交流が生まれ地域ファン化を促進する効果が見られた。

iii) 藤井地区の農産物を扱うECサイト立上げ 援農者が地域を離れて都会に戻っても、本地域を支え、関わり続けることができる仕組みの一つとして、藤井の里に特化したECサイトを構築

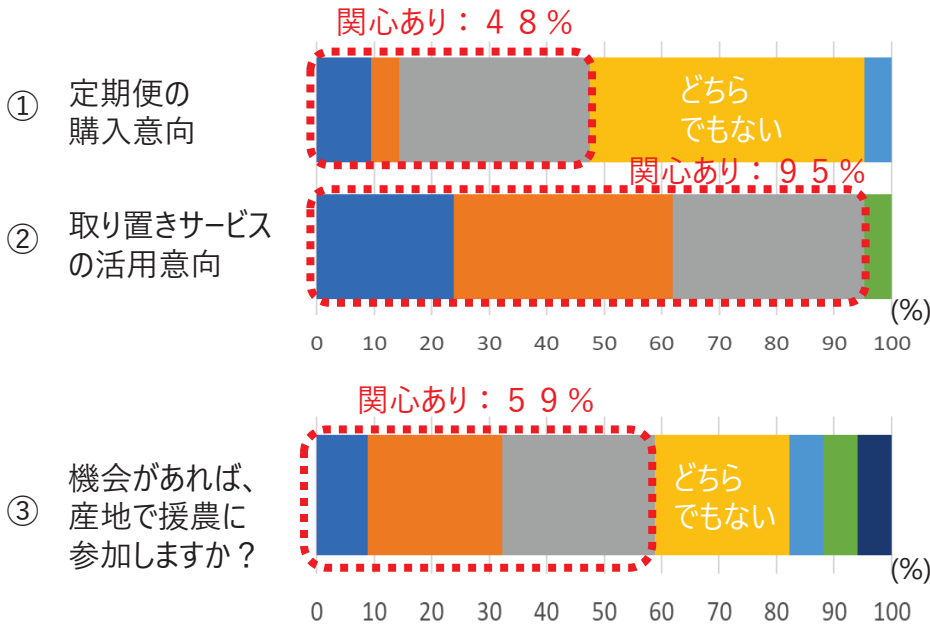


| 今年度の取組み内容                                                                                                                                                                                                                  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>オ 農業の「働き方改革」への取組</div> <div><ul style="list-style-type: none"><li>・地域の労働力状況の把握調査を通して生産者のヒアリングを行い、現状課題を把握 する。</li><li>・援農者の情報を「援農マッチング名簿」として整備して、業務効率を図る。</li><li>・援農マッチング名簿の作成に際しては、生産者側の意見調査も行い反映する。</li></ul></div> |

本事業取組みにおける成果項目

都市部における売り先確保の取組みとして、都市部の地域に根差す『お寺』を活用して、本地域（和歌山県 紀の川市 藤井地区）の農産物のマルシェを開催すると共に、購入者アンケートを実施した。

その結果、マルシェの単発販売だけでなく、定期便の購入（図①）や置き置きサービスの活用（図②）にも関心が高く、マルシェでの交流を介して援農者の獲得・産地送客（図③）などが期待できるアンケート結果が得られた。



次年度以降の取組み内容

援農リピーター獲得に向けて、3つの取組みを行う。

- ①援農コミュニティの構築、援農者と地域の関係構築  
⇒「エ 労働力マッチングデータベース化」の再掲
- ②援農者の費用負担軽減の取組み  
援農者のタイプ別の3つのプランを用意し、地域・援農者の双方の負担バランスを試行する。

| 援農者タイプ                              | 旅費 | 宿泊費     | 賃金               | 期間     |
|-------------------------------------|----|---------|------------------|--------|
| 地域の農家が賃金を払ってでも再来訪を希望する援農者           | なし | なし      | 賃金あり<br>(労働契約あり) | 7～14日間 |
| 地域の農家が再来訪と農業スキルアップを期待する「藤井の里の援農経験者」 | なし | 地域が一部補助 | 賃金なし             | 7日間    |
| 藤井の里・援農が未経験の関心層に向けたオープンな公募（地域体験ツアー） | なし | なし      | 賃金なし             | 2～7日間  |

※原則として関西在住者を対象とするため、旅費は自己負担

- ③地域特化のECサイトの立上げ  
援農者が地域を離れて都会に戻ってからも、地域を支えて関わり続けることができる仕組みの一つとして、藤井の里に特化したECサイトを構築・運用する。



( <https://nselection.base.ec/> )